

飯島賢二の『恐縮ですが...一言コラム』

第 397 回 運勢は「オラクル」(神託)である！

2010.12.26

今年最後の、コラムである。

2010 年も、残すところあと 5 日となった。 私事で恐縮だが、自分の運勢について書いてみる。

今日現在で、21,724日、生きてきた。

僕の心臓の鼓動は、約 21億 8,978 万回、止まることなく脈々と動き続けてきた。

通説 20 億回限界説(?)から言えば、もう、とっくに、死ななければならないほど、永く生きてきた。

そんな中、今年は正に、厄年(前厄)だったように思える。

今年の最初のコラム(第 345 回)に、「四柱推命」からみれば、僕の「星」は「四緑木星・火曜星」。

運勢は「凶」運気は低迷とあり、たぶん悪い年になるかもしれないと書いたが、

残念ながら、色々な意味で、その通りになった。

いかんともしがたい、無念さが残る年越しである。

運勢から言えば、来年も、あまりいい傾向ではないようである。

2011 年は、1951 年(昭和 26 年)生まれの男女とも本厄。

来年からまだ 2 年間、本厄、後厄が終わるまでは、何事にも注意しなければならない。

九星気学の「四緑木星」には、過去の流れを振り返り、

進むべき方向性や未来への展開を考えてコツコツ進むべき年とあった。

運勢を無視してはいけないのかもしれないが、

ただ黙って、じっとしている訳にもいかない。

だから今、こんな風に考えている。

実は**運命**には二種類あり、自分ではどうしようもない運命を「**天命**」と言う。

そして、自分の力で変化でき、開拓することのできるものを「**宿命**」と言っておく。

では「**運勢**」とは、各個人の、特に存亡に関わるような重大な意味を持つ**命運**の勢いのこと。

運勢は常に一定ではなく、各個人・時期・周囲の状況によって変わるものとされる。

また、本人の心の成長によっても変化が可能であるとされている。

つまり、「宿命」と同じ意味あいがある。

「宿命」は、自分の努力や挑戦や実行力で開拓、統制できる。

「宿命」を変えるには、明確なる目的意識を持って実践することだと思う。

境遇でも健康でも、運命でも、

それを乗り越えていくところに、新たな生命の価値が生まれるはずだ。

あくまでも自己に責任があるが、万人誰でも、厄を受けるわけではない。

総てのことを肯定し、あくまで積極的に生きていくこと、

それに徹することだと思っている。あとは天命に従うことだ。

決して負け惜しみの屁理屈ではない。

運勢は、自分への貴重なアドバイスであり、ミッションだと思っている。

「宿命」を変えるべき努力せよ！と言う、ありがたい「**オラクル**」(Oracle 神託)なのだ。

2011 年(平成 23 年)は卯(うさぎ)、僕の年だ！

人生の再スタートの、輝かしい年に...、絶対、そうしたいと思っている。

~ 良い年を、お迎えください、1 年間ありがとうございました ~